ＪＳＡＦオリンピッククラスレガッタ
兼
2015 年度　日本セーリング連盟 ナショナルチーム選考レース

レース公示

主　催：(公財) 日本セーリング連盟　オリンピック強化委員会
期　日：2014 年 12 月 5 日（金）～14 日（日）
開催地：ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点（和歌山セーリングセンター）

レース公示

1　規則
本レガッタは『セーリング競技規則』に定義された規則を適用する。

2　広告
艇は､主催団体により選択され支給された広告を表示するよう要求されることがある。

3　実施艇種、参加資格および申込みの方法

3.1　本レガッタは、以下のオリンピッククラスの艇が参加できる。
470 級　男子・女子
RS:X 級　男子・女子
レーザー級　男子・レーザーラジアル級　女子

3.2　2014 年度ナショナルチーム選手、各クラス協会より推薦を受けた選手又は、次世代特別強化候補選手としてオリンピック強化委員会より推薦を受けた選手

3.3　本レガッタ参加の競技者はレース当日有効な、(公財) 日本セーリング連盟及びクラス別協会の会員でなければならない。

3.4　参加資格のある艇は、添付の参加申込書兼クラス協会推薦書に必要事項を記載し、2014 年 12 月 1 日（月）までに、下記の大会事務局に送付することにより、参加申込をすることができる。
641-0014　和歌山市毛見 1514 番地　和歌山セーリングセンター
ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点
電話　073-448-0251　ファックス　073-494-3252
E-mail　info@wakayama-sailing.org

4　参加料

4.1　必要な参加料は次のとおりとする。

クラス	参加料
ダブルハンド	60,000 円
シングルハンド	30,000 円

4.2　その他の料金

参加の選手は、400 円／日のハーバー使用料をレース受付時に支払わなければならない（2014 年度ナショナルチーム選手は免除される）

5　レースの方式

5.1　470 級については通常コースとショートコースの、異なるターゲットタイムのレース形式により構成される。その他のクラスについては、通常コースのみで構成される。

5.2　470 級女子のエントリー数が 6 艇未満の場合、470 級男子と同時にスタートし、男子・女子それぞれのクラスとして得点する。

6　ターゲットタイム

各クラスとコースと、そのターゲットタイムは以下の通りである

クラス	コース	ターゲットタイム
470 級	Ｉ、Ｏ	45 分
	ＬＡ、ＬＲ、ＬＧ	25 分
RS:X 級	Ｉ，Ｏ，ＬＡ，ＬＧ、ＬＲ	25 分
レーザー／ラジアル級	Ｉ，Ｏ，ＬＲ、ＬＧ	60 分

7　日程

7.1　大会の日程

12 月 5 日（金）	9:00～17:00	大会受付、計測
	17:00～	開会式・艇長会議
12 月 14 日（日）	18:00～	成績発表・閉会式

7.2　レース日程

12 月 6 日（土）	レース
12 月 7 日（日）	レース
12 月 8 日（月）	レース
12 月 9 日（火）	レース
12 月 10 日（水）	予備日
12 月 11 日（木）	レース
12 月 12 日（金）	レース
12 月 13 日（土）	レース
12 月 14 日（日）	レース

12 月 9 日（火）までに 5 レース以上が完了しない場合、12 月 10 日（水）の予備日を使用してレースを行う。

7.3　レース数

クラス	レース数	1 日あたりのレース数
全てのクラス	16 レース	2 レース

7.4　天候、その他の理由により、日程より 2 レース以上前倒しされない場合に限り、1 日につき 1 つの追加レースを行う場合がある。

7.4　レース日における最初のクラスのレースの予告信号の予定時刻は 10:30 である。

7.5　RS:X クラスにおいて、パンピングコンディション以下の風速では、海上で 2 レース以上のレースを連続して行わない。

7.6　レース日の毎朝 9:10 から、和歌山セーリングセンタークラブハウス前にて、レース委員会・プロテスト委員会・選手・コーチによるブリーフィングを行う。

7.7　レース最終日は 16:00 以降に予告信号が発せられることはない。

8　計測

8.1　各艇は､クラス規則で求められる有効な計測証明書を大会受付時に提示しなければならない。

8.2　各艇は 12 月 5 日（金）の 9：00～12：00 までの間に、ハル（ボード）スパー、フォイル、セイルの計測が行われる。又、470 級については、重量及びスパーの計測が行われる。

9　帆走指示書

帆走指示書は大会受付時に配布する。

10　開催地

添付 1 は、レガッタ・ハーバー及びレースエリアの場所を示す。

11　コース

添付 2 の見取り図は、レグ間のおよその角度、通過するマークの順序、それぞれのマークを通過する側を含むコースを示す。

12　ペナルティー方式

RS:X 級を除き付則 P が適用される。

13　得点

13.1　得点方式は次の通りとする。

13.2　シリーズの成立には 9 レースを完了することが必要である。

13.3　(a)　9 レースから 10 レースまで完了した場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

(b)　11 レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い方から 2 つの得点を除外したレース得点の合計とする。

13.4　フィニッシュ順位第 1 位の艇の得点を 0 点として記録する。

14　サポートボート

14.1　各チームのサポートボートは大会受付時に使用する艇の登録を行い、主催者の用意する識別旗を、海上にいる間掲揚しなければならない。

14.2　主催者はオフィシャルサポートボートを準備する。競技者は衣類・飲食物・レース委員会により定められた予備備品を預ける事が出来る。

15　バース

艇は和歌山セーリングセンターにある間、指定された場所に保管しなければならない。

16　無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用される。

17　賞

17.1　賞は次のように与える。

17.2　2015 年度（公財）日本セーリング連盟オリンピック強化委員会の定めるナショナルチーム数は別途定める 2015 年度ナショナルチーム数規定による。

17.3　2015 年度に（公財）日本セーリング連盟オリンピック強化委員会の派遣する国際大会の参加資格、補助等の優勢順位は 2015 年ナショナルチーム上位からの順とする。但し、別途クラス別協会による公示が行われる大会を除く。

18　責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。規則 4［レースすることの決定］参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

19　保険

各参加艇は、有効な第三者賠償責任保険に加入していなければならない。

20　問い合わせ先

●大会に関する問い合わせ

(公財)日本セーリング連盟　オリンピック強化委員会

mam_2016_kyouka@jsaf.or.jp

●ハーバー、チャーターボートに関する問い合わせ

ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点（和歌山セーリングセンター）

info@wakayama.sailing.org

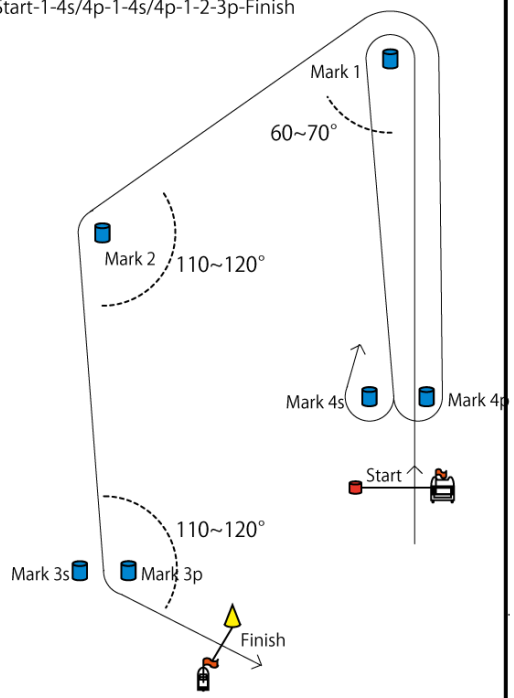
添付図　1　ハーバー及びレースエリア

添付図　2　レースコース

コース　“I”　トラペゾイド　インナーループ

I 2: Start-1-4s/4p-1-2-3p-Finish

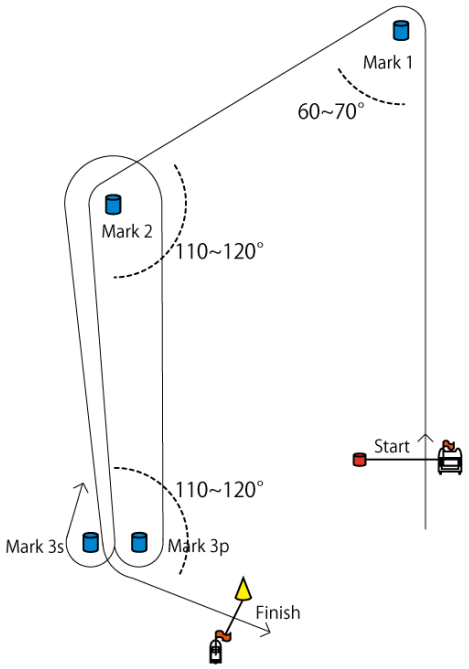
I 3: Start-1-4s/4p-1-4s/4p-1-2-3p-Finish



コース　“O”　トラペゾイド　アウターループ

O 2: Start-1-2-3s/3p-2-3p-Finish

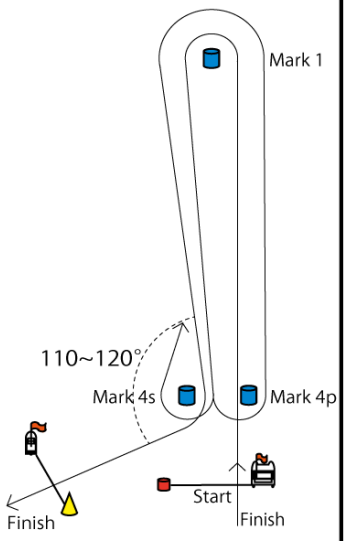
O 3: Start-1-2-3s/3p-2-3s/3p-2-3p-Finish



コース　“LG”

LG 2: Start-1-4s/4p-1-4s-Finish

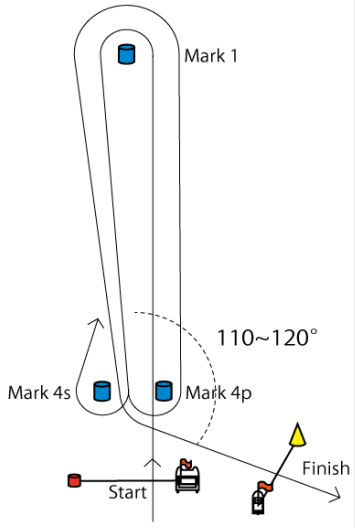
LG 3: Start-1-4s/4p-1-4s/4p-1-4s-Finish



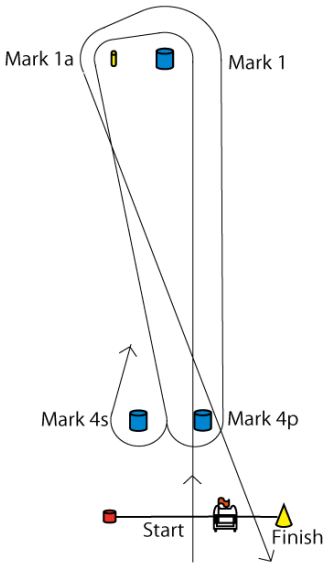
コース　“LR”

LR 2: Start-1-4s/4p-1-4p-Finish

LR 3: Start-1-4s/4p-1-4s/4p-1-4p-Finish



コース　“LA”

LA 2: Start-1-1a-4s/4p-1-1a-Finish

LA 3: Start-1-1a-4s/4p-1-1a-4s/4p-1-1a-Finish